

2021年5月21日

プレスリリース

中小企業向け事業保険のエヌエヌ生命
本社移転にかかる当社従業員の満足度調査結果
～ 就労環境に対する総合満足度が 43%から 87%に大幅改善 ～
～ 生産性ロス時間は 1 日あたり 40 分超削減 ～

エヌエヌ生命保険株式会社（代表取締役社長：フランク・エイシンク、本社：東京都渋谷区）は 2020 年 5 月に本社を「渋谷スクランブルスクエア」へ移転し、このたび「移転前後のオフィス環境比較」、「コロナ禍における働き方」、「コロナ収束後の未来の働き方」の三項目について当社従業員の満足度を測る調査を実施しました。調査の結果、当社の就労環境に対する従業員総合満足度は移転前の 43%（2017 年調査）から 87%へ大幅な改善が見られました。また移転前、従業員 1 名につき 1 日あたり平均 67 分以上発生していたオフィスにおける生産性ロス時間*は約 25 分に低減、在宅勤務においては 1 日あたり約 14 分まで低減できていることがわかりました。

エヌエヌ生命の従業員数は 2021 年 3 月末時点で 870 名（非正規雇用含まず）です。

*生産性ロス時間：

「周囲の会話や電話、近くの騒がしい音により、思考が中断する」「誰かが立ち寄ってくる、予告なしの電話、メールやチャットの受信により、作業や思考が一時中断する」等業務の妨げとなり得る 10 項目を策定。平均発生頻度（回/日）×平均対処時間（分/回）で算出。

本社の移転に際し、エヌエヌ生命はアクティビティ・ベースド・ワーキング（ABW：Activity Based Working）を導入し、役員を含むすべての従業員が固定席を持たず業務内容に応じた最適な執務スペースを選択できるようになりました。また在宅勤務制度やスーパーフレックス制度（コアタイムのないフレックス勤務制度）等の制度面の拡充により、働く場所や時間に大きく影響を受けない柔軟な働き方を実現しています。

エヌエヌ生命はコロナウイルス感染拡大抑止のため 2020 年 3 月初旬に出社制限を開始し、同月末に全面的に在宅勤務へ移行しました。調査項目「コロナ禍における働き方」では、効率的・効果的に働くために 69%が 1 週間のうち「1 日未満」または「1 日」程度オフィスで働く必要があると回答しています。また将来的にパンデミックではない状況で、働く場所を自由に選択できる柔軟な働き方ができる環境が整った場合、効率的・効果的に働くために 58%がオフィスで「1 日未満」または「1 日」程度働く必要があると回答しています。

オフィスで働く必要があると感じた主な理由としては「同僚との気軽なコミュニケーション」、「オフィスのみで活用できる特殊機器の利用」、「職場と家の境界線の明確化」などが挙げられました。

「コロナ収束後の未来の働き方」の調査ではオフィス以外の働く場所や時間に関して柔軟な働き方を取り入れることについて 86%が肯定的な回答をし、否定的な回答は 2%に留まりました。働く場所とその場所で働く時間の理想的な割合は「自宅」が 60%、「オフィス」が 27%となりました。

エヌエヌ生命は会社としての柔軟性と適応性を持ちながら、従業員一人ひとりが安全や健康に配慮し、業務内容や家族の状況等に鑑み、主体的に働き方を選択することを推奨しています。当社は「従業員から選ばれる企業」という視点に立ち、従業員の理想のワークライフバランスの実現に継続的に取り組んでいます。今後も従業員が安心して働くことができる環境や、柔軟な働き方をより一層推進し、従業員の成長と活躍をサポートしていきます。

以上

本件に関する問い合わせ先（報道機関用）

エヌエヌ生命保険株式会社 広報部 原

TEL: 03-6892-0523 Email: ML-IL-JP-CCA@nnlife.co.jp

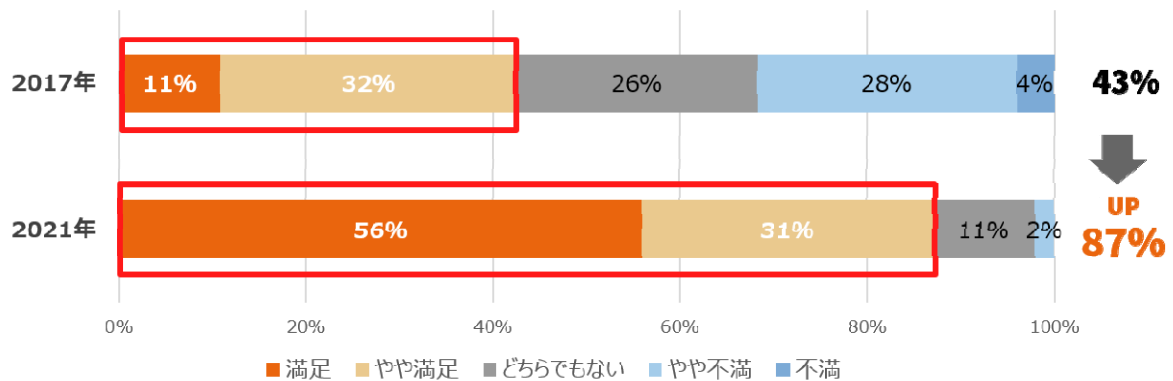
エヌエヌ生命は、オランダにルーツを持ち、175年におよぶ伝統を誇るNNグループの一員です。NNグループは、欧州および日本を主な拠点とし、20カ国にわたり、保険および資産運用事業を展開しています。その名は、源流である「ナショナル・ネーデルランデン」に由来しています。エヌエヌ生命は、1986年に日本で初めてのヨーロッパ生まれの生命保険会社として営業を開始して以来、30年以上にわたり、中小企業の“大切なもの”を共に守る商品やサービスをご提供しています。

別紙 1 【移転前後のオフィス環境】

移転前後のオフィス評価比較

	2017年	2021年
総合満足度	43%	87%
生産性ロス時間	67.8分	24.5分
フレキシブルに働ける	58%	62%
ワークプレイスを (知人・クライアントへ) お勧めした	-	88%
以前の環境に 戻りたくない	-	86%

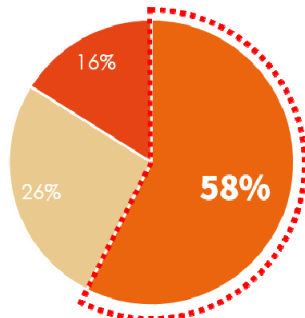
総合的にみて、あなたは現状の職場環境に満足していますか？.



アクティビティ・ベースド・ワーキング (ABW : Activity Based Working) の評価

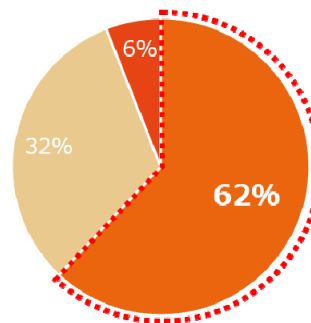
あなたは働き方や働く場所 (社内・在宅) を選べる
フレキシブルな方法・環境で、効果的に仕事ができる
と思いますか？

Before (2017年)



あなたはABW環境下で、効果的に仕事ができる
と思いますか？

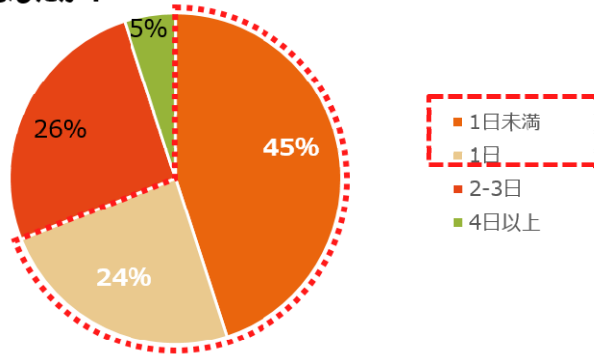
After (2021年)



■ 思う
■ 分らない
■ 思わない

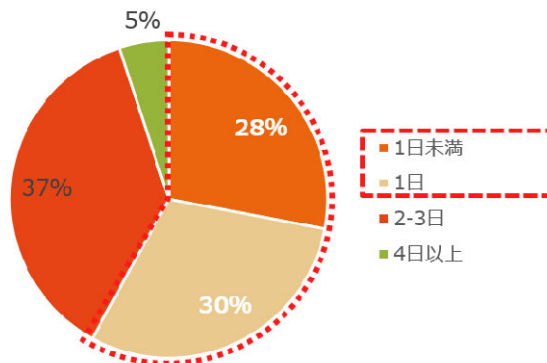
現在 Current

コロナ禍で、あなたが最も効率よく効果的に働くために週に、どの程度オフィスで働く必要があると感じましたか？

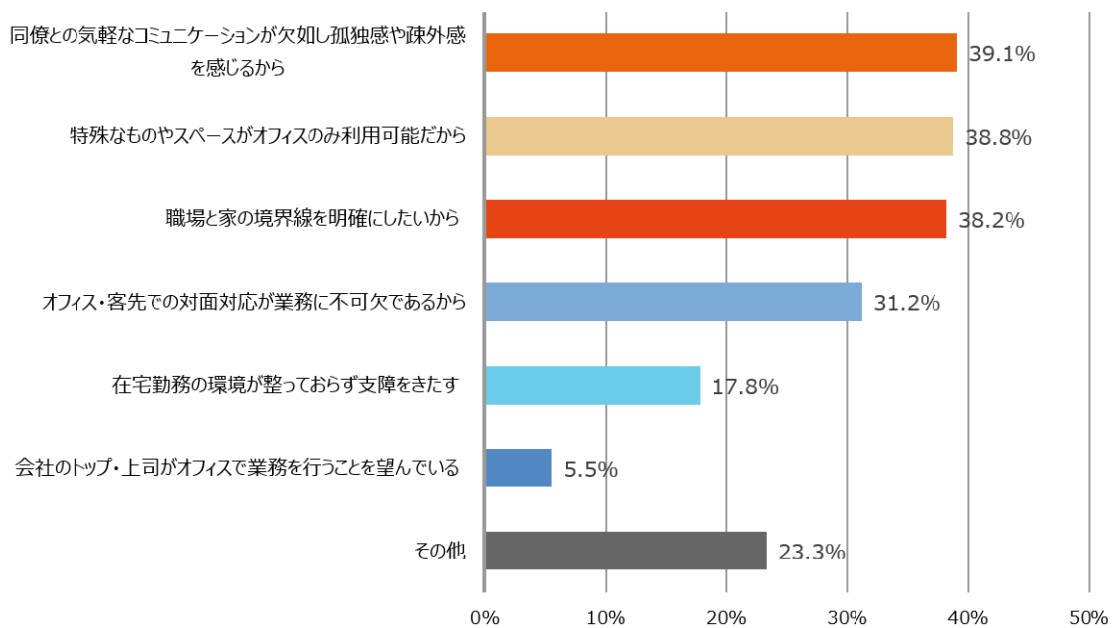


未来 Future

将来、働く場所を自由に選択できるフレキシブルな働き方ができる環境が整った場合、あなたが最も効率よく効果的に働くために週に何日程度オフィスに出社したいですか？

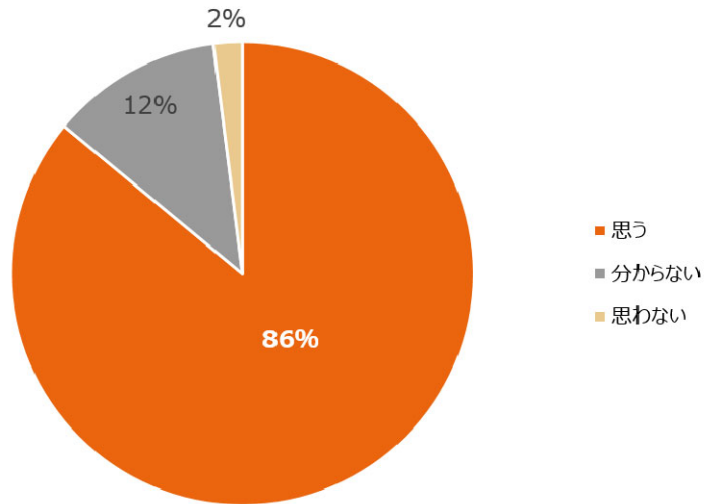


オフィスで働く必要があると感じた主な理由は何ですか？



別紙3 【コロナ収束後の未来の働き方】

あなたは、仕事内容に応じてオフィス以外の働く場所や時間を自由に選択できる働き方を取り入れた場合、仕事の効率を維持または向上できると思いますか？



将来、働く場所の選択肢が増えた場合、その場所で働く時間の理想的な割合（0～100%）を教えてください。

